



2023年7月18日（火）

愛知県教育委員会高等学校教育課
進路指導グループ

担当 前田、大河

内線 3896、3916

ダイヤルイン 052-954-6786

愛知県公立高等学校入学者選抜方法協議会議（令和5年度第2回） の開催について

愛知県教育委員会は、昭和38年に教育長からの諮問により入学者選抜方法に関する事項について研究協議を行う機関として、愛知県公立高等学校入学者選抜方法協議会を設置しました。以降、この協議会は、入学者選抜方法の改善に大きな役割を果たしています。

この度、5月31日（水）に開催した第1回協議会議に続き、下記のとおり本年度第2回の協議会議を開催しますので、お知らせします。

なお、協議会議の結果は、会議当日午後6時頃に資料配布にてお知らせします。

記

1 日時

2023年7月25日（火）午後2時から午後3時30分まで

2 会場

愛知県庁本庁舎 6階 正庁
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

3 委員

25名（裏面「委員名簿」のとおり）

4 議題

愛知県公立高等学校入学者選抜方法について

〔諮問事項〕

長期欠席者等にかかる選抜方法の在り方について

令和5年度愛知県公立高等学校入学者選抜方法協議会議

委員名簿（順不同・敬称略）

| | | | | |
|----------------------------|-----|-----|-----|-----|
| ◎ 愛知教育大学教育学部特別教授 | つち | や | たけ | し |
| | 土 | 屋 | 武 | 志 |
| ○ 名古屋大学教育基盤連携本部特任教授 | はやし | | たか | き |
| | 林 | | 誉 | 樹 |
| 名古屋大学大学院教育発達科学研究科教授 | いし | い | ひで | とき |
| | 石 | 井 | 秀 | 宗 |
| 愛知教育大学教育学部特別教授 | いい | じま | やす | ゆき |
| | 飯 | 島 | 康 | 之 |
| めいこう 名工学園理事長 | はやし | | ふみ | とし |
| | 林 | | 文 | 敏 |
| トヨタ自動車株式会社人事部技能系人事室採用グループ長 | たか | しま | | ただし |
| | 高 | 嶋 | | 忠 |
| 名古屋銀行人材開発部人事グループ係長 | い | とう | な | な |
| | 伊 | 藤 | 奈 | 々 |
| 愛知県地域婦人団体連絡協議会副会長 | すず | き | | |
| | 鈴 | 木 | みどり | |
| 愛知県公立高等学校PTA連合会長 | いし | い | とし | かず |
| | 石 | 井 | 利 | 和 |
| 愛知県小中学校PTA連絡協議会長 | た | なか | ひろ | き |
| | 田 | 中 | 広 | 樹 |
| 名古屋市教育委員会教育長 | つぼ | た | とも | ひろ |
| | 坪 | 田 | 知 | 広 |
| 東海市教育委員会教育長 | か | とう | かず | ひろ |
| | 加 | 藤 | 千 | 博 |
| 田原市教育委員会教育長 | すず | き | きん | や |
| | 鈴 | 木 | 欽 | 也 |
| 愛知県立旭丘高等学校長 | こ | はやし | せい | じ |
| | 小 | 林 | 整 | 次 |
| 愛知県立明和高等学校長 | こ | じま | とし | ふみ |
| | 小 | 島 | 寿 | 文 |
| 名古屋市立菊里高等学校長 | みず | の | もと | ゆき |
| | 水 | 野 | 基 | 行 |
| 愛知県立新城有教館高等学校長 | まき | の | み | わ |
| | 牧 | 野 | 美 | 和 |
| 幸田町立坂崎小学校長 | つ | づき | たか | あき |
| | 都 | 築 | 孝 | 明 |
| 名古屋市立丸の内中学校長 | すず | き | | けん |
| | 鈴 | 木 | | 健 |
| 名古屋市立田光中学校長 | たか | はし | よし | ゆき |
| | 高 | 橋 | 美 | 行 |
| 豊橋市立牟呂中学校長 | いし | づみ | のり | ひき |
| | 石 | 積 | 紀 | 尚 |
| 愛知県立豊明高等学校教諭 | か | とう | とし | や |
| | 加 | 藤 | 聡 | 也 |
| 名古屋市立工芸高等学校教諭 | か | とう | | つかさ |
| | 加 | 藤 | | 司 |
| 豊橋市立南陽中学校教諭 | さ | とう | かつ | とし |
| | 佐 | 藤 | 勝 | 利 |
| 名古屋市立大森中学校教諭 | かわ | かみ | けん | た |
| | 河 | 上 | 賢 | 太 |

◎は議長、○は副議長

愛知県公立高等学校入学者選抜方法協議会議（令和5年度第2回）について

1 協議について

5月31日（水）に開催された愛知県公立高等学校入学者選抜方法協議会議（令和5年度第1回）において、教育長から土屋議長に諮問を行った。今回、諮問事項について、専門員会のまとめに基づいて協議が行われる。

2 諮問事項について

本年度の諮問事項は次のとおりである。

諮問事項

長期欠席者等にかかる選抜方法の在り方について

○ 諮問理由

平成25（2013）年度の本協議会議において、長期欠席者を対象とする入学者選抜の在り方について諮問し、不登校などで欠席日数が多いが、高等学校に進学する意志の強い生徒に配慮する方法について協議した。その結果、全日制課程一般選抜、定時制課程及び通信制課程の全校・全学科において、平成26（2014）年度入学者選抜から長期欠席者等にかかる選抜方法を導入することとした。

この選抜方法では、中学校等を卒業する見込みの者を対象に、第3学年における欠席等の日数（生徒指導要録上は出席扱いとなっている別室登校の日数や、学校外の教育支援センター等で相談・指導を受けた日数を含む。）が出席しなければならない日数の半分以上の者が申請できることとし、選抜に当たっては、申請者それぞれの事情に配慮し、面接は個人面接とするとともに、調査書の評定は参考として取り扱うこととした。

愛知県の中学校における不登校生徒の人数は、平成25（2013）年度は6,605人であったが、令和3（2021）年度は11,352人となっており、近年は特に増加傾向にある。こうした中、文部科学省の「不登校児童生徒への支援の在り方について（通知）」（令和元年10月25日付け元文科初第698号）では、高等学校で学ぶ意欲や能力を有する不登校生徒を、高等学校入学者選抜において適切に評価することや、中学校卒業時に高等学校へ進学しなかった者等への支援の必要性が示された。

また、同通知では、義務教育段階の不登校生徒が自宅でICT等を活用した学習活動を行ったとき、それが計画的な学習プログラムによるものであり、円滑な学校復帰と自立を助ける上で有効・適切である等の要件を満たしている場合は、当該生徒の努力を学校として適切に判断し、指導要録上は出席扱いとすること及びその成果を評価に反映することができるとされた。

不登校生徒に関するこうした状況の変化に加え、「GIGAスクール構想」により学校教育におけるICT環境の整備が急速に進んだことを踏まえて、長期欠席者等にかかる選抜方法の在り方について改めて検討する必要がある。